

■10月18日

日航、ファミリーマートと業務提携、JALマイレージで相互送客

日航とファミリーマートは17日、両社の持つインフラやノウハウを相互に活用した国内外の多角的なサービスの実施に向け、業務提携を行うと発表した。

11月1日からファミリーマートで買い物すれば、JALのマイルが従来の2倍たまるようになる。コンビニの主要顧客である若年層を取り込みたいJALと、JALのマイルサービスを利用する40～50代の来店増加を目指すファミリーマートの思惑が一致した。

ファミマでの決済は「JALカード」の場合、プレミアム会員なら100円につき2マイル、非会員なら200円で2マイルを加算する。イオンの電子マネー「WAON」が一体になった「JMB WAON」でクレジット決済をすれば、200円につき2マイルを付ける。1万マイルためるとファミマ専用のプリペイドカード(1万5000円分)に交換できる。また、ファミリーマートの電子商取引(EC)サイトの利用でもJALのマイルをためられる。

(JALプレスリリース)10/17

<http://press.jal.co.jp/ja/release/201310/002681.html> (-> <http://press.jal.co.jp/ja/release/201310/002681.html>)

(日経)10/17

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFL170QL_X11C13A000000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFL170QL_X11C13A000000/)

那覇空港、新国際線旅客ターミナル、利用開始は2014年2月17日

那覇空港ビルディングは16日、那覇空港新国際線旅客ターミナルビルの利用開始が2014年2月17日に決まったと発表した。また、旧国際線旅客ターミナルビルは前日の同2月16日に閉鎖した上で、14年度中に同ビルを撤去し、エプロンとして整備される。琉球新報が報じた。

新国際線旅客ターミナルビルは、那覇空港国内線旅客ターミナルビル北側に位置する。ビルと航空機をつなぐボーディングブリッジ(搭乗橋)を設置し、同時に中型機(約260席)2機、もしくは小型機(約150席)4機の対応が可能となる。

同ビルは4階建て。建築面積は約9240平方メートル、延べ床面積が約2万3450平方メートル。1階は到着ロビー、2階は出発ロビーと搭乗待合室、3階は入国検査などとなる。飲食店、物販店、サービス店がそれぞれ4店舗ずつ入居する。

(琉球新報)10/17

<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-213927-storytopic-4.html> (-> <http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-213927-storytopic-4.html>)

アメリカン航空、羽田—ニューヨーク線運休、深夜早朝枠は需要伸びず

アメリカン航空は12月1日の日本発便を最後に、羽田—ニューヨーク線を運休することを決定した。利用が伸び悩んでいるためといい、アメリカン航空では深夜早朝に発着枠が限定されているために旅客の利便性が損なわれているとしている。

同社は2011年2月に羽田—ニューヨーク線の運航を開始したが、震災による需要減のために2011年9月から2012年6月まで運休。その後、羽田線は6月3日に再開し、それに合わせて成田発着を運休し、以降ニューヨーク線は羽田に一本化していた。運休により自社運航によるニューヨーク線はなくなり、日航とのコードシェア便だけになる。

(トラベルビジョン)10/17

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59232> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59232>)

アメリカン航空、ダラスー香港、上海線、2路線を開設

アメリカン航空は16日、ダラス・フォートワース国際空港と、香港、上海をそれぞれ結ぶ2路線を開設すると発表した。来年6月に使用機材はボーイング777で就航し、1日1往復の計画。

2路線とも提携相手の日本航空と実施している、運賃の共通化といった共同事業の対象となる。アジアと米国を移動するビジネス客らを見込む。

(産経ニュース)10/17

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/131017/biz13101715480010-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/131017/biz13101715480010-n1.htm>)

エア・カナダ、羽田ートロント線開設、2014年夏スケジュール

中国の杭州で開催中のショーケース・カナダ・アジア2013でAC日本支社長のワイス貴代氏は、エア・カナダは国土交通省航空局に2014年夏季スケジュールでの羽田ートロント線を申請したことを明らかにした。日本とカナダ間の航空交渉で認められた昼間時間帯発着枠を活用し、来年3月末からの就航に向けて準備を進行中だ。

トラベルビジョンによると、ワイス氏は「羽田線は首都圏だけでなく、地方からの乗り継ぎ需要が見込める。日本での売上を伸ばしていきたい」と話し、羽田線に期待を寄せた。機材はボーイングB777型機になる見込み。同社は2012年に深夜早朝枠を利用して羽田ーバンクーバー線の就航を計画していたものの、十分な需要が見込めないことから中止した経緯がある。

また、成田線については、バンクーバー線とカルガリー線は週7便を維持し、トロント線については継続するか今後検討を進めていくという。

(トラベルビジョン)10/17

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59225> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59225>)

エアロメヒコ航空、成田線、ボーイング787投入

エアロメヒコ航空は16日、成田路線でのボーイング787型機の運航を開始した。従来はボーイング767型機を投入していたが、ボーイング787投入により座席数が171席から243席に増加した。

また、同社は2014年からは現行の週3便から週4便に増やす計画をしている。

(トラベルビジョン)10/17

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59242> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59242>)

(エアロメヒコ航空 プレスリリース)10/17

<http://prw.kyodonews.jp/opn/release/201310175507/> (-> <http://prw.kyodonews.jp/opn/release/201310175507/>)

スカイマーク、2014年3月期決算

(日経によると)

スカイマークは17日、2014年3月期の単独税引き利益が前期比47%減の20億円になりそうだと発表した。格安航空会社(LCC)との競争激化で、成田空港と地方を結ぶ路線の旅客数が想定を下回り、従来予想(33億円)から下方修正した。

売上高は911億円(6%増)で従来予想を40億円下回る見通し。営業利益は51%減の23億円(従来予想58億円)と一転、減少を見込む。成田ー新千歳線や成田ー福岡線、羽田ー福岡線などの旅客が、LCCやスターフライヤーなどに流出しているもようだ。さらに燃料となる原油価格の想定を1バレル=97ドルから105ドルに見直したことで、13億円程度の利益押し下げ要因となる。

前期比では為替の円安も響く。同社は国内線のみを運航しており外貨建て収入がないため、円安はコスト増に直結する。今期は前期より14円程度安い1ドル=97円を想定。前期比では50億円弱の減益要因となる。

(日経)10/17

<http://www.nikkei.com/markets/kigyo/gyoseki.aspx?g=DGXNZO6123548017102013DT0000> (->

<http://www.nikkei.com/markets/kigyo/gyoseki.aspx?g=DGXNZO6123548017102013DT0000>)

春秋航空(LCC)、秋の感謝祭タイムセール、佐賀・高松—上海は1580円～

春秋航空は10月23日より「秋の感謝祭」と題したタイムセールを実施する。佐賀・高松—上海の片道運賃は1,580円から、茨城—上海の片道運賃は5,000円から展開する。

販売期間は10月23日10時から10月29日17時までで、搭乗期間は10月27日から12月19日までとなっている。

(春秋航空 HP)

http://www.china-sss.com/jp/Activitiesall/JP_Activitiesall07 (-> http://www.china-sss.com/jp/Activitiesall/JP_Activitiesall07)

(マイナビ)10/17

<http://news.mynavi.jp/news/2013/10/17/063/> (-> <http://news.mynavi.jp/news/2013/10/17/063/>)

アジアナ航空、釜山—富山チャーター便、今秋5往復、福島原発汚染水問題で集客できず

富山県は17日、富山空(->)港から釜山へのチャーター便について、アジアナ航空が24日から11月5日までに5往復を運航すると発表した。運航は昨年に続き2回目だが、十分な乗客数が見込めないことから、運航数は6往復から減った。

県総合交通政策室によると、釜山へのチャーター便は昨年10～11月に初めて運航し、搭乗率は55%。今年に入り、石井知事は同社を訪問するなどして増便を要請。7月には8往復を運航すると連絡を受けていたが、東京電力福島第一原発の汚染水問題などが影響し、韓国から富山への観光客が集まらず、5往復に減便されての運航となった。

(読売新聞)10/18

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/toyama/news/20131018-OYT8T00040.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/toyama/news/20131018-OYT8T00040.htm>)

ノックエア(LCC)、ヤンゴン—バンコク線就航

格安航空会社のノックエアは15日、11月1日からヤンゴン—ドムアン(バンコク)線を就航すると発表した。同社は9月1日にメーソート～モーラミヤイン線を、10月1日にメーソート～ヤンゴン線を就航しており、同線がタイ・ミャンマー間を結ぶ3路線目となる。

使用機材はボーイング737-800(189席)で、週4便で運航を開始し、12月1日からは週8便に、14年1月からは週7日、毎日2便の運航へと増便する計画だ。

ヤンゴン～バンコク線は現在、エアアジア、バンコクエアウェイズ、タイ国際航空、ミャンマー国際航空、ゴールデンミャンマーエアラインズが運航しており、ノックエアが6社目となる。

(ミャンマー新聞)10/17

<http://myanmarnews.jp/?p=6672> (-> <http://myanmarnews.jp/?p=6672>)

韓国、空港サービス品質1位はチェジュ空港

(yonhapnewsによると)

韓国の空港でサービスが最も良い空港は済州空港、最も悪い空港は金浦空港という調査結果が出た。

国会国土交通委員会所属の与党セヌリ党の李老根(イ・ノグン)議員が17日に公開した報告書によると、今年に入り仁川国際空港を除く国内14の空港を調査した結果、サービス平均点は90.2点だったことが分かった。報告書は韓国空港公社がモニタリング結果などを基にまとめた。

トップは97.9点の済州空港。金浦空港は昨年より14.6点ダウンの78.2点で、最下位だった。光州空港(82.1点)、金海空港(84.8点)、群山空港(85.9点)も平均点以下だった。金浦空港はIDチェックサービス部門で、利用者へのあいさつや笑顔など主に職員の態度に対する評価が低かった。一方、済州空港はあいさつや笑顔などの項目で100点満点を獲得した。

(yonhapnews)10/17

<http://japanese.yonhapnews.co.kr/society/2013/10/17/0800000000AJP20131017001100882.HTML7> (->
<http://japanese.yonhapnews.co.kr/society/2013/10/17/0800000000AJP20131017001100882.HTML7>)

台湾とロシア、航空協定で調印

(The Voice of Russiaによると)

10月17日台湾時間で15時、台湾・モスクワ調整委員会のケ・セン・ヤオ委員長とモスクワ・台湾調整委員会のO.I.ロボフ委員長が、両国の民間航空代表者の臨席の下、ロシア連邦と台湾の間の航空協定に調印した。

調印に至るまでの交渉はロシア側の度重なるトップ交代で20年以上にわたって長引いていたが、やっとのことで調印にこぎつけた。これは台湾とロシアの関係のブレイクスルーとも言える。

この後、航空会社同士の間で、技術面に関する交渉が行われる。

チャイナ・エアライン側は、うまくいけば、台湾とロシアの間で定期直行便の運行が可能だとしている。

(The Voice of Russia)10/17

http://japanese.ruvr.ru/2013_10_17/123002102/ (-> http://japanese.ruvr.ru/2013_10_17/123002102/)

エミレーツ航空、FFPでサッカーの試合チケット交換

エミレーツ航空はこのほど、FFPの「スカイワーズ」でマイルとの交換が可能な特典としてサッカーの試合観戦チケットを追加した。チケットの提供はすべて先着順で、1回あたり2枚まで利用できるという。

観戦チケットは、エミレーツ航空がスポンサーを務めるチームが対象で、現在のシーズンではACミランやアーセナルFC、ハンブルガーSV、ニューヨーク・コスモス、オリンピックコスFC、パリ・サンジェルマンFC、レアル・マドリードCFなどの試合が対象。

(トラベルビジョン)10/17

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59243> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59243>)

ベトジェットエア(LCC)、エアバス社と92機購入覚書締結

(産経bizによると)

ベトナム初の格安航空会社(LCC)ベトジェットエアが、機材の大量投入でアジア航空市場に攻勢をかける。欧州エアバス社とA320型機(標準座席約150席)を最大で92機購入し、8機をレンタルで利用する内容で覚書を交わしたことを明らかにした。現地紙ベトナム・インベストメント・レビューなどが報じた。

購入やレンタル利用を予定する機体は、翼に取り付けて燃料を節約する装置「シャークレット」を装備したものなどA320シリーズ数機種で、総額91億ドル(約8980億円)。2014年から22年にかけて、年間に約10機ずつ納入される予定だ。

ベトジェットエアは11年12月に就航を開始。現在、9機のA320を保有し、国内11都市を結んでいる。国際線はタイの首都バンコク便のみだ。

同社のルー・ドゥック・カイン社長は「年内に韓国、将来的には日本や台湾にも国際線網を拡大したい」と、意欲を示した。

ベトナム民間航空局(CAAV)によると、ベトジェットエアの今年1～7月の税引き前利益は570万ドルで黒字経営を続けている。

航空専門家は、同社のベトナム国内航空市場でのシェアは現在約20%だが、今年末には25%に伸びると予測。大型投資により、国内外で一気に事業拡大を図る考えだ。

(産経biz)10/18

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/131018/bsk1310180701002-n1.htm> (->

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/131018/bsk1310180701002-n1.htm>)